



### 石井 功

#### 2040年狛江のまちづくり

**問** ①人口減少を受け入れていくのか、減少を抑える策を打つか。そのような議論は行われたのか。

②2040年、高齢者の健康はさらに重要になると考える。和泉多摩川緑地の都立公園化の構想はスポーツ・レクリエーション空間の確保が一つの柱だ。現在の進捗状況は。

③市の南部で現在、交渉中、または調整中の市民農園の候補地のおおよその広さと区画数は。

**答** ①人口減少を抑えるため、総合戦略をもとに施策展開し、市民等を含む委員会で進捗管理している。

#### 道路行政について

**問** ①松原交差点の渋滞対策事業、交差点すいすいプランが認可取得したとのことだが、その内容の確認をしたい。

②松原交差点すいすいプランの写しを見ると、交差点以南の拡幅は塀等の工作物がかなりその範囲に存在する。これらの工作物を取用する時、撤去費用及び補償はどうなるのか。

③今回の事業の範囲以南の田中橋交差点までの区間の計画についてはどのようなものか。

**答** ①中和泉一丁目から和泉本町三丁目までの235メートル。松原交差点以南は16メートルまで広げる。交差点以北は断面構成を変更し交差点の交通を円滑化する。



### 鈴木えつお

#### ハラスメントの根絶、人権尊重条例に生存権保障を、消費税10%への増税に反対を

**問** ①ハラスメント根絶へ全職員向け無記名アンケート実施を②人権尊重条例にハラスメントの根絶やLGBTの人権保障とともに、生存権の保障を入れるべき③市長公約「人にやさしいまち」の立場から、消費税増税に反対し富裕層や大企業に負担を求めるべき。

**答** ①条例に基づく運用の中でアンケートを行う必然性が生じた場合に判断すべきと考え、市況等も勘案しながら検討委員会で検討いただきたい③税制全体の中で社会保障費の財源をどのように確保していくのか議論していくことが必要。

#### ソーラーシェアリングの検討、原発からの撤退と再生可能エネルギーの利用促進を

**問** ①農地でのソーラーシェアリングが広がっている。狛江では宅地化農地であれば可能でありPRを②再生可能エネルギーの利用率の目標設定を③原発事故後7年半経つのに4万人が不自由な避難生活をしている。危険な原発をなくすという立場をとるべき。

**答** ①PRを行う前に都市部での導入状況等情報収集に努める②環境基本計画等の改定において他自治体の取り組みを参考に検討していく③電源となるエネルギーにはそれぞれ強みと弱みがあることから、バランスの取れた需給構造を構築する必要がある。

#### 南部地域から調布方面へのバス路線の新設、ダイヤの重なる改善、バス停新設を

**問** ①南部地域から調布方面へバス路線新設を②こまバスと路線バスのダイヤの重なり改善を③和泉多摩川駅前郵便局前にバス停を④世田谷通り高架下駐輪場に防犯カメラを⑤市役所前交差点に歩車分離式信号を。

**答** ①事業者へ粘り強く伝えていく②機会を要望しているが総合的に事業者側で判断するもの④今後の検討課題⑤交通管理者に要望を伝えていく。



### 岡村 しん

#### 災害死者ゼロのまちづくり

**問** ①子育て世代が参加しやすい防災訓練ができないか②開局準備中の狛江のFMラジオ局と協定を結び、防災情報を家の中で聞けるように進めてほしい③災害時の診察や薬をもらう流れは④災害医療コーディネーターと各避難所の連携は⑤福祉避難所の防災倉庫確保の要望はどうなったか⑥避難所の質の向上についての考え方は⑦一小に続き避難所となる全ての学校体育館へエアコン設置を。

**答** ①レクリエーション的なのが必要か、否か難しい②開局されるのであれば協議したい③対応が可能な機関の数に限られる。在宅避難の方の医薬品は検討課題④定期・巡回診療、保健活動班の派遣調整。仕組みは検討⑤あいとびあセンター、岩戸地域センター、教育研究所付近の備蓄庫等を予定⑥少しでも過ごしやすい環境にしたいと考えている⑦財政状況等を踏まえ検証を行っていく。

#### 交通利便性の向上と安全対策について

**問** ①渋谷行きバスがあまりに少ない。市の認識は②調布市や世田谷区との連携を③渋谷行きバス増便を小田急バスに要望してほしい④こまバスの増便を行う必要があると思うかどうか⑤サポートベンチを活用しバス停に椅子の設置を⑥喜多見駅の自転車駐輪場台数の認識は⑦駐輪場増設に向け具体的な動きを⑧安全対策が必要な水道道路拡幅のスケジュールは⑨電中研前歩道の早期整備を。

**答** ①採算性や車両等のやりくりで判断と理解②各自自治体の問題意識が高まれば連携していく③要望する④近隣自治体やバス事業者と連携をしてより良い方向で考えたい⑤導入コスト等を踏まえ調査研究⑥少ないとの意見は頂いている⑦世田谷区との連携を検討と民間施設へ増設要望をする⑧東京都は事業概要及び測量説明会について準備中とのこと⑨31年度に整備した部分を歩道として開放。



### 宮坂 良子

#### 高齢になっても安心して住み続けられるように、福祉の充実を

**問** ①市の調査で介護保険利用料が払えずサービスを利用していない人が4.2%、低所得者へ利用料の軽減を②低所得者が入れぬ多床室がある特養ホームの増設を③狛江団地のエレベーター設置を都へ要望して④シルバーピアは安くて安心の住まい、増設を。

**答** ①一定の配慮は行っている。困難な場合は相談いただき支援を検討②新たな整備は難しい。整備する場合は事業者から意見を聞き総合的に判断③高齢者向け住宅等の積極的な供給とあわせ東京都へ要望④財源確保等の課題も大きい。運営している3棟を適切に運営。

#### 社会保障としての国民健康保険。国保税に国の財政支援を、多子世帯への軽減を

**問** ①国保は2年連続値上げされた。4人世帯の増額分は②市の法定外繰入をなくした場合いくら増額か③法定外繰入の削減・解消計画の市の考えは④多子世帯は子どもの数が多いほど保険料が上がりが子育て支援に逆行。他市が実施している減免制度の実施を。

**答** ①所得300万円の40代夫婦と子供2人の4人世帯で29年度は年間2万4900円、30年度は年間1万8800円の増②約3万5340円③31年度中に計画策定④国に対し子供に係る保険料軽減措置の実施等、負担軽減策を要望。財政支援がなければ難しい。ひとしく安心して教育を受けられるよう就学援助制度の拡充で、子育て支援の充実を

**問** ①教育費は無料にもかかわらず保護者負担は中学で47万円に。基準を1.2倍にするには467万円可能、ぜひ拡充を②12市が実施している卒業アルバム代への補助を③入学金用品費の支給をせめて3月中旬に。

**答** ①「狛江市子どもの生活実態調査」結果も参考に検討②事業全体のあり方を検討する中で考えていく③ダブル支給を防ぐためにも、適正な事務の運用は必要と考える。



### 西村 あつ子

#### 市民サービスの向上へPart2

**問** ①根川児童は廃止すべきでなかったが見解は②根川児童を活用し児童として再スタートを③児童クラブを増設すべき④児童の入所基準で、育休明けの復職条件を変える必要がある⑤保育園は指数の減点がない。児童も4月中に復職であれば指数は10点とすべき⑥認可園でない幼児施設利用者を補助金支給対象に⑦駅周辺にバイク駐輪場増設の要望があるが、どう考えているのか。

**答** ①休止としたが、申込人数が少なく閉所方向性を示す③平成31年度新設により90人の定員の増加を図り、小学校児童の需要に合わせ、児童クラブ整備の検討④新年度申請受付中で、変更することは難しい⑤来年度に向けて検討⑥都や他市の取り組みを調査・研究していく⑦需要や必要性の検証を行う必要がある。

#### 教育環境について

**問** ①「笑育」について②実施経緯と事業内容③目的の効果④今後の方向性⑤子どもや学校の反応⑥単年度の取り組みか⑦外国人生徒・児童の受け入れ体制⑧言語への対応は⑨学校給食の役割⑩中学校のテスト期間中に給食提供と応援メニューを⑪教職員の長時間勤務について⑫認識⑬事務負担軽減⑭研究授業の目的と成果⑮文科省が示す研究指定校の簡素・合理化について。

**答** ①協議の結果。全7時間のプログラム構成②思考力、判断力、表現力等を伸ばす③子ども達から豊かな発想力が引き出された④学校が主体性を持ち取り組む⑤印象深い活動になった⑥学校の意思を支援⑦支援体制を整えている⑧翻訳機活用等⑨福祉的側面もある⑩課題整理が必要。検討する⑪授業づくり等の時間が不足⑫グループウェア導入⑬質の維持・向上。主体的な学びが具現化⑭教員として誇り・やりがいを持てるようにする。